

# 『生命の危機的状況にある患者の看護』 研修会実施報告

日時 : 令和4年11月16日(水) 8:30~12:30  
対象者 : ラダーⅢ~Ⅳを目指す者  
参加者数 : 21名  
目標 : 生命に危機的状況にある患者の病態変化を予測し、重篤化を予防できる知識と技術を学び、看護実践に活用することができる。

## <講師の紹介>

集中ケア認定看護師  
2階A病棟

Y 主査



## <内容>



今回の研修は「モニタリング」から始まりました。普段何気なく計っていることの多いバイタルサインですが、基本的なところから学ぶことができました。その中でも特に苦手意識を持っている人が多い「モニター心電図」では、モニター心電図を読むポイントや、VT/VFに移行しやすい危険な不整脈について学ぶことができ、受講生からも「少し分かった気がする」「やっと理解できた」という意見がありました。その後は「人工呼吸器」「血液ガス」「電解質と浸透圧」「輸液」「カテコラミン」といった急性

期看護には欠かせない内容の講義が続きました。研修の対象者が「ラダーⅢ~Ⅳを目指す者」ということもあり、専門的で高度な内容も含まれていましたが、1つ1つ丁寧に根拠も含めて説明してもらえたことで、「なるほど」「そういうことだったのか」と何度も頷いている受講生が多く見られました。

今回の研修では「生命の危機的状況にある患者」の看護について、幅広く学ぶことができました。患者の病態変化を予測し重篤化を予防できる知識と技術を、これからの看護実践に活用していきたいと思えます。